

令和6年度の児童相談所における児童虐待相談対応件数(速報値)の詳細

1 県全体の虐待相談対応件数(虐待認定件数)の状況

児童相談所と市町を合計した県全体の虐待相談対応件数は過去最多を更新した。

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	増減(R6年度－R5年度)(増減率)
児童相談所対応件数	729	662	688	852	742	－110(－12.9%)
市町対応件数	431	606	613	779	904	＋125(＋16.0%)
県全体	1,160	1,268	1,301	1,631	1,646	＋15(＋0.9%)

2 児童相談所の虐待相談対応件数(虐待認定件数)の内訳

①虐待相談の経路別(主なもの) 警察からの割合が最も高く、約4割を占めた。

	R 5 年度(構成割合)	R 6 年度(構成割合)	増減(増減率)
家族・親戚	77(9.0%)	60(8.1%)	－17(－22.1%)
近隣・知人	18(2.1%)	16(2.1%)	－2(－11.1%)
警察等	344(40.4%)	261(35.2%)	－83(－24.1%)
学校等	213(25.0%)	219(29.5%)	＋6(＋2.8%)
その他	200(23.5%)	186(25.1%)	－14(－7.0%)
合計	852(100.0%)	742(100.0%)	－110(－12.9%)

②主な虐待者別 実父・実母とも割合に大きな変化は見られなかった。

	R 5 年度(構成割合)	R 6 年度(構成割合)	増減(増減率)
実父	333(39.1%)	295(39.8%)	－38(－11.4%)
実母	423(49.6%)	375(50.5%)	－48(－11.3%)
その他	96(11.3%)	72(9.7%)	－24(－25.0%)
合計	852(100.0%)	742(100.0%)	－110(－12.9%)

③虐待の種類別 前年度に引き続き、心理的虐待の割合が約5割を占めた。

	R 5 年度(構成割合)	R 6 年度(構成割合)	増減(増減率)
身体的虐待	292(34.3%)	246(33.2%)	－46(－15.8%)
性的虐待	11(1.3%)	10(1.3%)	－1(－9.1%)
心理的虐待	433(50.8%)	408(55.0%)	－25(－5.8%)
ネグレクト	116(13.6%)	78(10.5%)	－38(－32.8%)
合計	852(100.0%)	742(100.0%)	－110(－12.9%)

④被虐待者の年齢別 前年度に引き続き、小学生の割合が最多となった。

	R 5 年度(構成割合)	R 6 年度(構成割合)	増減(増減率)
0～3歳未満	128(15.0%)	76(10.2%)	－52(－40.6%)
3歳～就学前	188(22.1%)	164(22.1%)	－24(－12.8%)
小学生	313(36.7%)	302(40.7%)	－11(－3.5%)
中学生	150(17.6%)	134(18.1%)	－16(－10.7%)
高校生・その他	73(8.6%)	66(8.9%)	－7(－9.6%)
合計	852(100.0%)	742(100.0%)	－110(－12.9%)